

亀中だより

No. 2

海南市立亀川中学校
海南市且来990
Tel (073) 482-3529
HP <http://www.kame-chu.kainan.ed.jp/>
発行 令和3年5月25日



関わる全ての人が幸せになる

「いい学校」を目指して

教育目標

生きる力を育み、

未来を拓くために、

主体的に考え行動できる生徒を育成する



5月16日に気象庁から近畿地方と東海地方が梅雨入りしたと発表がありました。今年の梅雨入りは、平年よりも21日早く、統計を取り始めた1951年以降、近畿地方は最も早い梅雨入りに、東海地方は2番目に早い梅雨入りになったとのことです。

今後は、マスク着用の暑さと梅雨による蒸し暑さに加え、気温の上昇による熱中症にも気をつけていかなければなりません。子ども達には色々大変な思いをさせてしまいますが、引き続き感染予防対策にご協力をお願いいたします。

保護者・地域の皆様におかれましても体調には充分ご留意くださいませ。

○各学年の取組み

令和3年度がスタートして、1ヶ月あまりが経ちました。1年生も中学校生活に慣れてきた様子で、各学年共に勉強に部活動にと、しっかりと取り組んでいます。その中で、総合的な学習の時間での各学年の取組みを紹介します。

☆3年生☆

「**なるほど！なっとく！ためになる性教育講座**」と題して、養護教諭が体育館で授業を行いました。これは、思春期体験学習の一環として毎年行われる授業で、性教育を通して「**命の大切さや将来の幸せに繋がる生き方**」を考えることを目的としています。

授業の内容は、以下の通りです。

- 1 性教育の意義について
- 2 中高生が性関係を持つことの危険性について
- 3 性感染症に関する〇×クイズ
- 4 インフルエンザと性感染症の違いについて
- 5 「性感染症」の感染者がなぜ増えるのか？（班活動）
- 6 性感染症の広がり方について

今後は、助産師さんによる授業をうける予定となっています。



☆2年生☆

人権学習の一環として、**障害者スポーツ（パラスポーツ）**について学習をしています。パラスポーツについて調べ、その中でも「**シッティングバレーボール**」を取り上げ、体験しました。「シッティングバレーボール」とは、座った姿勢で行う6人制バレーボールのことです。但し、お尻を浮かせることはできません。また、コートは健常者のバレーボールよりも狭くなっています。座った状態でプレーすれば、健常者も簡単にできることから、国内には健常者と障がい者の混成チームが参加できる大会もあるそうです。



☆1年生☆

農業体験がスタートしました。本校グラウンドの西側にある畑に、サツマイモを植えるため草引き等を行いました。この活動は「**他者と協力しながら主体的に取組み、作物を育てる喜びを味わわせること**」を目的に毎年実施しています。今年度は、密を防ぐために各クラス別での活動となりましたが、みんな一生懸命草引きを行いました。今後は土を耕し、畝をつくる予定となっています。

亀鼓楽の演奏♪

5月12日(水)の全校集会で音楽部「亀鼓楽」が練習の成果を披露しました。大自然の雄大さをうたった曲など、体育館いっぱいに迫力ある演奏が響き渡りました。

亀ノ川でアブラボテを捕獲！理科室で生態観察を行っていく予定です。

科学部・科学技術部の活動

海南警察署交通課の方に来ていただきました。左側走行の徹底、二人乗り・並進の禁止等、自転車安全利用五則を守って絶対事故のないようにしましょう！

交通安全教室の実施

キッズサポート教室の実施

インターネットの危険性

和歌山県警察本部生活安全部少年課

フィルタリングしてますか？



フィルタリングは義務です！

◎家庭でのルールを作りましょう

- 使いすぎに注意しよう！
- 歩きスマホは危険！
- ネットいじめは犯罪！
- 安易な書き込みはしない！

絶対に注意して欲しい事

- 他人に見られて困るものは送信しない。
- ネットで知り合った相手の情報は信用しない。
- 写真や学校など、個人情報を掲示しない。
- ひとりで悩まず、相談する。

軽い気持ち、他の人もやっている、ちょっとくらい大丈夫、遊びや冗談で…これらすべてがトラブルの始まりです。

5月14日(金)に和歌山県警察本部生活安全部少年課から講師先生にお越しいただき、1年生を対象に「インターネットの危険性」をテーマにキッズサポート教室を実施しました。児童ポルノ、児童買春…中学生がどのようにしてネット上の犯罪に巻き込まれてしまうのかについて詳しく教えていただきました。自撮り被害の4割以上が中学生だそうです。自分には関係ないと思っていた人もドキッとしたのではないのでしょうか。SNS等を利用している人は絶えず心にとめておいてほしいお話ばかりでした。家族と話し合い、ルールをつくって、心のプレーキをしっかりとちましましょう。自分自身、そして、自分のまわりの自分を大切に思っている人たちを傷つけないためにも…。

6月 行事予定

- 3日(木) 3年到達度テスト①
検尿2次
- 4日(金) 検尿2次予備日
スクールカウンセラー来校
- 8日(火) 眼科検診
- 10日(木) 育友会第1回専門部会
- 11日(金) スクールカウンセラー来校
- 16日(水) 体力テスト
- 17日(木) 歯科検診
- 23日(水) 期末テスト発表
- 29日(火) 第1回学校運営協議会
- 30日(水) 期末テスト一日目
- 7月
- 1日(木) 期末テスト2日目
- 2日(金) 期末テスト3日目

「スクールキャラクターをつくろう！」 ～生徒会総会に向けての取組～

生徒会執行部から今年度の生徒総会に向けての取組が発表されました。亀川中学校のイメージや先輩たちから受け継がれてきた良き伝統などを話し合い、これからもよりよい亀川中学校にするためにどうすれば良いか。みんなの思いをスクールキャラクターという形にすることにしました。作成費用はペットボトルを回収して集めます。何年も何十年にもわたり愛され続ける亀中を象徴するキャラクターができると良いですね。



親子読書感想文

「わたしって何？」



毎年ゴールデンウィーク中に設定している“親子読書”を実施しました。今年のテーマは情報機器の活用によるトラブル。親子でじっくり話し合って提出していただいた感想文の一部を紹介します。

〈あらすじ〉

「携帯電話で友だちとメールができて楽しい。」「メールでいじめられる人もいるみたいだけど、私には関係ない。私は大丈夫。」そう思っていたのに…。友だちから送られてきた悪口のメールに軽く同調してしまっただけで、自分を攻撃するメールが送られてくるようになります。「お前なんか、いらぬ。学校に来るな。」ひどい言葉に深く傷つく日々を送ります。「わたしなんかいなくなればいいの？わたしって何？」と追い詰められたとき、単身赴任中の父親から電話が…。「元気かい？何かあったら、必ずお母さんに相談するんだよ。」優しい父の言葉に「わたし」ははっと気づきます。「一人じゃないんだ…。」あふれそうになる涙をこらえ、家に向かいます。

最近は顔も分からない人がネットで人を追い詰める言葉を書いているのを見たりします。言われた人は誰にも相談できずに一人で苦しんでしまうことになっていきます。私はこの話を読んであらためてネットは怖いものだと思います。人を傷つけることになったり、死まで追い込んでしまうことになったりするの、ネットの怖いところだと思います。でも反対に良いところもたくさんあります。どのようにしたら一人一人が安心して使えるようになるのか考えようと思いました。もし、自分がこの主人公の立場なら相談することができないと思います。でもそんなときに、相談したら心が軽くなります。だから、まず一人で悩んでいる子に気づけるような人間になりたいと思いました。また、ネットを使っている人が相手の気持ちを考えることができるような世の中になって欲しいです。そんな世の中にするのができたなら一人も嫌な気持ちをすることなく毎日を過ごせると思いました。 【1年生徒】

私は今携帯を使っています。メールは楽しいです。でも小学生のころいろいろと問題がありました。メールは楽しい、実際言えない言葉も言えます。お母さんからメールでけんかしたらだめだよ。と言われていました。また、この文と似たようなチェーンメールがあり怖いことを書かれていて脅されます。私は3回くらい友達からメールで送られてきました。けれど私は友達には送りません。これを読んでもう一度使い方を確認しようと思いました。

【1年生徒】

携帯電話の使用の仕方をコントロールすることはとても難しいですね。今回は「メール」が対象となっていますが、その他のSNSについても知識を勉強してから使用することをお願いしたいと考えます。また、子供の教育は、学校と保護者が連携して行うことが望ましいと思います。だからこそ中等教育の早い段階で情報モラルの講習を開催していただき、どのような悪循環が生まれるのか知って欲しいと思います。私は40代半ばの人間です。自分が高校生の時にポケットベルが流行し、大学生の時に携帯電話が一般的になり始めた世代です。「人」と接する際は、必ず相手の「表情」や「仕草」、「その場の状況」を見て考えて言葉を発してきました。人のもつ適応規制を繰り返して行い、常に葛藤し生活してきました。だから人の気持ちを予測し、その場で限りなく適切な判断を繰り返してきました。もちろん一番大事な「失敗」や「誤解」を繰り返しながらです。今の子供の殆どが、上記の経験値を積み重ねなければならない思春期に便利なツールと出会ってしまっています。何も考えずに発した言葉が一人歩きする恐ろしい時代です。何気ない「言葉」がどんな風に伝わるのかは相手の心理状況次第。しかも「メール」の言葉は証拠となり残ります。

私が実際に経験した事象から言えることは自分が辛いことにならないよう守る4つの約束

- ① 人のことを文字化しない
- ② 携帯電話を使用した言葉のやりとりは連絡のみにする。
- ③ 相談事は直接会話する
- ④ グループで会話できるツールは使用しない

上記を守れない場合は、携帯電話の使用を制限した方が良いでしょう。人は誰も傷つきたくないし傷つけたいとも思いません。でも何気ない会話が文字化し証拠となることが怖いのです。我が家でも常に携帯の使用の仕方や怖さについて話し合い、膝をつき合わせて会話をするのがどれほど大切かを教えていきたいと考えています。

【1年保護者】

「わたしって何」を読んで、この話が読み手に伝えたい2つのことに気が付きました。また、それについて考えることができました。1つ目は、携帯を使う上での大事なことです。主人公の「わたし」は、携帯のメールで友達とやりとりすることの楽しさに満足していたが、ある日、メールでクラスメイトの心無い悪口を言ったことを境に、自分自身がメールの送信者がわからない誰かに悪口をたくさん送られてしまうことになりました。これを読んで自分がしたことは自分に返ってくること、自分がされて嫌なことは他人にもしてはいけないとあらためて気付くことができました。2つ目は、身近にある大事な存在です。主人公は自分の存在を悪い方向に深く考え込んでしまいます。しかし、父から久しぶりに電話が来て、心配の言葉をかけられます。それによって自分は一人ではない、家族がいつも自分のことを大事に思ってくれていることに気づかされます。身近にある大切な存在は、気付くにくいけれど、いつも近くにあり、大切にしなければいけないと思いました。この話を読んで大切なことにあらためて気付く、頭の片隅に置きながら日常生活を過ごしていきたいです。

【2年生徒】

「わたしって何」を読んであらためて、メールでのやり取りの怖さや注意しないといけないことを話し合いました。メールは相手の顔が見えないので、一歩間違えると相手のことを知らない間に傷つけているかもしれません。この物語の主人公もメールでのやり取りがきっかけでいざ知らずや嫌がらせが始まっています。たとえ仲がいい友達でも、言葉を選んで送らないと、もめごとが起こってしまいます。「自分の友達にはそんなことをする子はいない」と根拠のない自信を持っていると、きっと自分が嫌な思いをします。そうならないために、メールを送るときは間違った言葉遣いや相手が勘違いするような文になっていないか、相手のことを傷つける言葉になっていないか、確かめる必要があります。

そして何よりも、両親を頼るということです。自分がもしもめごとに巻き込まれたとき、頼らずに悩んだままずっとしんどいと思います。なので私はメールの使い方に気を付けるだけでなく、もし問題が起こったときは、自分ひとりの力で解決しようとせず、身近な人を頼ろうと思います。

【2年生徒】

我が家は高校受験が終わるまで、スマホを持たせたくないと考えています。クラスの大半は持っているし、連絡を取り合いたい、ゲームで遊びたいという要求はありますが、持たせたことによるデメリットの方が大きいと思うからです。大人でもメールのやり取りは誤解を生んだり、人間関係にストレスを感じることがあります。感受性が強くなる思春期には、余計な心配ごとになりそうな世界からまだ守ってあげたいというのが私の本音です。自分の友達関係を守るために何気なく入れた文字が相手を想像以上に傷つけてしまったり、自分が傷つくはめになってしまったり…。なので、予測、判断、対処法、精神力、責任などのいろんな力、自分も相手も大事にする気持ち、伝え方をしっかりと身に付けてから、メールのやり取りを許したいと思っています。そして普段から些細なことなど、何でも話せるような親子関係でいたいです。

互いに感想を読み合い、その後話し合いをしました。一つの出来事の例からいろいろな行動、その後どうなっていくかを考えてみました。あらためて、まだ持たせたくない理由を本音で話せたことと味方であることを伝えることができ、有意義な時間を共有できて良かったです。

【2年保護者】

「自分は関係ない、大丈夫。」という根拠のない考えが問題を引き起こすことになる、とあらためてこの話を読んで思いました。

携帯電話は便利で使うと楽しいし、私も使っています。けれど、時には人を死へ追いやったり誰かの心に深い傷を負わせる武器にだって簡単に換えられるんだということを使う人みんなが理解していなければいけないと思います。

この話の主人公は母親の忠告に対して深く考えていないように見えたり、メールで人をばかにしたりしないという約束をしていたけれど実際には友達が言った悪口に乗っかって同意していたり、自分自身に心無い言葉が送られてきたりしていて、自分もそんな状況になりかねないんだなと思いました。

人に流されて、自分がよくない方向に進んでいったりしてしまうことはあって特にSNS上だと顔が見えなかったり、個人情報載っていないということをいいことに相手の気持ちを考えずに送ってしまい、そんな行動で主人公のように自分の意味が分からなくなってしまう人が本当にいるから、もう一度自分の携帯電話やSNSに対する意識を改め、周りの意識も変えていけるような行動を心がけたいと思います。

【3年生徒】

今はSNSとかでのいじめがないから自分も「だいじょうぶ」と思っていたし、全然身近に感じていなかったけど、SNSは使うことが多いし気をつけないといけないなと思いました。名前とか送った本人が分からないようになっていとしても相手が傷つくようなことを言ったり送ったりしたらダメだし、送られた方は誰が送ってきたかもわからないというのが1番こわいと思います。SNSを使っているかぎり「自分には関係ない」とは言い切れません。自分はする側にもされる側にもならないようにしたいと思います。もしされたときには家族・友達・先生に相談して1人ではなやまないようにしなきゃいけないなと思います。それぞれ人の嫌なところとか合わないところとかあるかもしれないけど、それを口に出したり文字に表さずに心に止めておくのが大切だと思います。名前が分からない状態でいやな事が送られてくると、こわいし、気持ちがネガティブになってしまったり、それを1人でかかえこんでしまうことが多いと思います。でも1人で抱え込んでいる方がつらいし、しんどいです。誰かに相談するだけで思い詰めていたことが軽くなると思います。この話を読んで、やっぱりつらいときは家族の存在は大切なんだと思いました。しんどいときこそ身近な人を頼って1人で抱え込まないようにしないとけないなと思います。

【3年生徒】

「わたしって何」。答えは出ないが、人生のどのタイミング、社会に出ても考えさせられる。特に中学生時は多感で、勉強、スポーツ、身体的要素、社交性等に劣等感を持ちやすい時期である。それをおもしろおかしくからかってしまう。今も昔も大きく変わらないと思うが、現在はSNS発達もあり、より陰湿と思われる。本人が強い心を養うことも大切だが、中々難しい。今は、自分の考えや意見を言い合える良い仲間と出会い、成長してほしいと思う。中学1年生の頃、「小学校の頃、少しいじめられた事がある」と本人から聞いたことがある。今は何事もなく、仲良くしているようだが、つらかったようであった。その当時は親に言えなかったのだなと思うと申し訳ない気持ちになった。私自身、帰宅が遅い事が多いので、なるべく今は少しでも良いので、学校の事、クラブの事、悩み事などの会話を心がけている。これから、「わたしって何」を考える機会もあると思うが、悩みながら成長していくと思う。親として人生の良き相談者としてありたいと思います。

【3年保護者】